



作成日：2016年 6月 1日
最新改訂日：2020年 6月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : スーパーアースガードT
 販売会社名 : 竹中産業株式会社
 住所 : 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1丁目5-5
 担当部門 : 開発部
 電話番号 : 03-3256-2355
 FAX番号 : 03-3254-8270
 受付日時 : 月曜日～金曜日(祝祭日除く) 9:00～17:00
 整理番号 : SDT-212 (主用途: アスファルト合材付着防止剤)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
 引火性液体 : 区分外
 自然発火性液体 : 区分外
 健康に対する有害性
 急性毒性(経口) : 区分外
 急性毒性(経皮) : 区分外
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分外
 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分外
 環境に対する有害性
 水生環境急性有害性 : 区分外
 水生環境慢性有害性 : 区分外

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
 注意喚起語 : なし
 危険有害性情報 : なし

注意書き

【安全対策】

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、呼吸用保護具を着用すること。
- ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急処置】

- ・吸入した場合、新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は、はずして洗うこと。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。
- ・眼の刺激が持続する時、気分が悪い時は医師の診察を受けること。

【保管】

- ・直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可をうけた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し
 上記以外の項目は現時点で、「分類出来ない」または「区分外」である。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物
化学名または一般名	: アスファルト合材付着防止剤
成分および含有量	: 界面活性剤; 7%以下、多価アルコール; 4.6%以下、水分; 4.7%以上
化学特性 (化学式)	: 特定できない。
CAS No.	: 特定できない
危険有害成分	: 有害性は極めて低い

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気の場所に移動させ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣服・靴などを速やかに脱ぎ、多量の水および石けんで、付着した部分を洗い流す。また、湿疹などの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせるとかえって肺への吸引などの危険が増す。口の中が汚染されている場合には、清浄な水で十分に洗浄する。
最も重要な徴候および症状に関する簡潔な情報	: 飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。 : 目に入ると炎症をおこす可能性がある。 : 皮膚に触れると炎症をおこす可能性がある。 : ミスト・蒸気を吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

5. 火災時の措置

消火剤	: 霧状の水、粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂が有効である。
使ってはならない消火器	: 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
特有の危険有害性	: 燃焼ガスには、一酸化炭素等有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を遮断する。 火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は風上から行き、空気呼吸器、化学用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

生分解性オイルですが、通常のオイルと比べ環境への影響は小さいですが、全く影響がないわけではありません。環境中への漏油は出来る限り少なくなるように注意して下さい。

人体に対する注意事項	
保護具及び緊急時措置	: 漏洩区域は関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩エリア内に立ち入る時は保護具を着用する。 風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。 蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。 密閉された場所に立ち入る時は、事前に換気する。
環境に対する注意事項	: 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。 海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。
回収、中和	: 漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合は、土砂、おがくず、ウエス等に吸収し、密閉出来る容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合

封じ込め及び浄化の方法/機材 : は、盛り土などで流出を防止し、密閉出来る空容器に回収する。
 二次災害の防止策 : 危険でなければ漏れを止める。
 : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
 周辺の発火源を速やかに取り除く。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

生分解性オイルですが、通常のオイルと比べ環境への影響は小さいですが、全く影響がないわけではありません。環境中への排出や漏油は出来る限り少なくなるように注意して取り扱うとともに保管下さい。

取扱い

技術的対策 : 取り扱い場所の近くに、洗眼、洗浄のための設備を設置する。
 ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
 本製品を取り扱う場合、必ず保護具を着用する。
 局所排気・全体換気 : 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。
 安全取扱注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後は良く手を洗う。
 接触回避 : 炎、火花又は高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策 : 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 適切な保管場所 : 通気の良い場所で容器を密閉し保管する。
 安全な容器包装材料 : 密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 (暴露限界値、生物学的暴露指標)
 日本産業衛生学会 (2010年版) : 設定されていない。
 ACGIH (2010年版) : 設定されていない。

設備対策 : 取り扱い場所の近辺に洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具 : ミスト・蒸気が発生する場合は、必要に応じて有機ガス用防毒マスクを着用する。
 手の保護具 : ゴム製の保護手袋 (ニトリル製、塩化ビニル製など) を着用する。
 眼の保護具 : 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) を着用する。
 皮膚および身体の保護具 : 長袖作業服を着用する。
 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。

衛生対策

: 作業中は飲食、喫煙を行なわない。休憩場所には、手洗い・洗眼などの設備を設け、取扱い後には手や顔などをよく洗う。
 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状および色 : 青色半透明液体。
 臭い : ほとんどなし
 pH : 7.4

物理的状态が変化する特定の温度

引火点、沸点 : 引火性なし、100°C以上 (初留点)
 溶解性 : 水によく溶ける
 密度 : 1.063g/cm³ (20°C)

GHS分類

: 引火性液体でないことから区分外とした。

自然発火点

: 常温では発火しないことから、区分外とした。

分解温度 : データなし

1 0. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用条件で安定。
 危険有害反応可能性 : 自己反応性はない。
 避けるべき条件 : 情報なし。
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

1 1. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ 10,000m g /kg 以上
 経皮 ウサギ LD₅₀ 10,000m g /kg 以上 から区分外とした。
 吸入 (ミスト) データがないため分類出来ない。
 皮膚有害反応可能性 : 情報は得られていない。
 眼に対する重篤な損傷
 眼刺激性 : 情報は得られていない。
 呼吸器感受性 : 情報は得られていない。
 皮膚感受性 : 情報は得られていない。
 生殖細胞変異原性 : 情報は得られていない。
 発がん性 : 情報は得られていない。
 生殖毒性 : 情報は得られていない。
 特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 情報は得られていない。
 特定標的毒性 (反復暴露) : 情報は得られていない。
 吸引性呼吸器有害性 : 情報は得られていない。
 その他の情報 : 情報は得られていない。

1 2. 環境影響情報

水生環境急性有害性 : 魚類 (ファットヘッドミノー) LC₅₀=300,000m g /L/96H から区分外とした。
 水生環境慢性有害性 : 生分解性は良好。(96% by BOD)から区分外とした。
 オゾン層への有害性 : 分類出来ない。

1 3. 廃棄上の注意

生分解性オイルであり、通常のオイルと比べ環境への影響は小さいですが、全く影響がないわけではありません。廃棄する場合は出来る限り少なくなるように注意して下さい。

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物票 (マニフェスト) を交付して廃棄物処理を委託する。
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋めたり投機することは避ける。
 可燃性の溶剤等と共に噴霧するか、又はケイソウ土、木粉(おが屑)などに吸収させて、アフターバーナー及びスクラバー付き焼却炉の火室で焼却する。
 汚染容器・包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類 : 非該当
 国連番号 : 非該当
 品名 : 非該当
 海洋汚損物質 : 非該当
 国内規制 (適用法令)
 陸上輸送 : 消防法、道路法の規定に従う。
 海上輸送 : 特段の規制なし (非危険物)

航空輸送 : 特段の規制なし (非危険物)
 特別の安全対策 : 輸送に際しては、直接日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 : 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当
 化審法 : 非該当
 毒物及び劇物取締り法 : 非該当
 消防法 : 非該当
 化学物質管理促進法 (PRTR) : 非該当
 船舶安全法 : 非該当
 航空法 : 非該当
 海洋汚染防止法 : 第3条第3号の政令 : 対象
 外国為替及び外国貿易管理法 : 輸出令別表第3の地域を除く地域を最終仕向地とする輸出については輸出貿易管理令 キャッチオール規制の対象。

16. その他の情報

本品を輸出する際の注意事項 : 国内法及び輸出先の法令を遵守すること。

参考文献

- 文献 1. 化学物質管理促進法 PRTR/MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社
- 文献 2. 労働安全衛生法MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社 (2007)
- 文献 3. 化学物質の危険・有害便覧 : 中央労働災害防止協会編
- 文献 4. 安衛法化学物質 : 化学工業日報社
- 文献 5. 産業中毒便覧(増補版) : 医歯薬出版
- 文献 6. 化学物質安全データブック : オーム社
- 文献 7. 公害と毒・危険物(総論編、有機編) : 三共出版
- 文献 8. 化学物質の危険・有害性便覧 : 労働安全衛生部監修
- 文献 9. Registry of Toxic Effect of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
- 文献 10. GHS 分類結果データベース n i t e (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
- 文献 11. GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

記載内容の取扱い

: 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関してはいかなる保証をなすものではありません。また、法令の改正および新しい知見に基づいて改訂されることがあります。本製品安全データシートは、本製品の通常の取扱いを対象としており、安全な取扱いを確保するための参考情報としまして、取扱う事業者を提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考に自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い致します。